

編集後記

★ 「働き方改革」は今後の大きな課題である。全ての業種に当てはまることであるが、われわれの医療業界ではそのハードルは高い。〇〇時間連続勤務などと話していた時代もあり、そのような医師の働き方に医療が支えられてきた側面がある。また自己研鑽についても医療業界では大きな問題である。学会発表の準備や論文作成、症例の診断や治療法に関する過去の文献の渉猟などは、多くは勤務が終了した時間帯、もしくは勤務が始まる前などの勤務時間外に行われている。実際にこのような時間を全て勤務時間に含めると膨大になる。

★ 現在、その対応について大学・病院で検討を行いながら振り返ってみると、世間で言われているようにやはり医師は特殊な職業かもしれない。例えば現在の自分の勤務を考えてみると、通勤に約1時間かかるので朝の5時半に起きて6時半には出勤し、自宅に帰るのが遅いと23時や0時近くなる時もある。若い頃は、自宅に帰るのが翌2時や3時になることもあった。また、土日は学会や研究会に出かけており、丸々休みという日はほとんどなかったように思う。このような仕事は他にはあまりないであろう。さらに当時は、そのような働き方に疑問など感じず、逆にやりがいを感じていたので、本当に特殊な業種である。

★ 大学時代に入り浸っていたブティックがあった。栃木県小山市では滅多に見えないお洒落な小さいブティックで、東京の大手アパレルメーカーの部長をしていた店長（おっちゃんと呼んでいた）が地元に戻ってオープンしたお店である。以前のつながりで、イッセイミヤケや山本寛斎をはじめ、当時の有名ブランドを取り揃えていた。学生時代はそこで洋服を買うことは少なかったが、かなりの頻度で夕方から夜にかけて、その店のカウンターでコーヒーを出してもらい、悪友と共におっちゃんと話をしていた。無駄話ばかりであったが、今でも覚えている会話がいくつかあり、その一つに私の愚痴に対するおっちゃんの返答がある。確か勉強であったかもしれないが、私がやりたくないことに使う時間が無駄であるような話をした時に、「稲葉君、1日は24時間あって全て自分の時間なのだから、何かをやらなければならない時間とか分けて考えなければいいんじゃないの。勉強の時間、遊びの時間などと明確に分けずに全て自分の同じ時間の中でやっていることと考えればいいと思うよ。無駄な時間などないのだから」との内容だったと思うが、当時は妙に納得したのであった。

★ 医師になって35年が経過した。最近は流石に夜遅くまで起きているのが厳しくなってきたが、基本的に昔と同じような働き方をしている。今まで辛いとかやめようなどと考えたことはなく、全て自分の時間で自分の好きなように、自分のために行っているスタイルである。こんな話を後輩にするとパワハラになりそうなのであまりしないが、今でもおっちゃんの言葉を思い出して変に納得している。

（稲葉 裕）



Robert Judet が院長を務めた
Raymond Poincaré 病院

生田義和 画
2023-11

（稲葉 裕）

顧問 林 浩一郎 四宮 謙一 編集 大川 淳	石井 良章 岩本 幸英 松田 秀一	中村 孝志 星野 雄一 竹下 克志	高岡 邦夫 越智 光夫 安達 伸生	長野 昭 遠藤 直人 稲葉 裕
定価 2,860 円 (本体 2,600 円 + 税 10%)	臨床雑誌 整形外科 74 巻・12 号 (11 月号, 第 900 冊) 編集兼発行者 東京都文京区本郷三丁目 42-6 印刷所 東京都江東区亀戸七丁目 2-12			2023 年 11 月 1 日 発行 小 立 健 太 三報社印刷株式会社
発行所 株式会社 南江堂	〒113-8410 東京都文京区本郷三丁目 42-6 https://www.nankodo.co.jp/			編集 TEL 03-3811-7619 FAX 03-3811-8660 営業 TEL 03-3811-7239

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物の利用に関する原著作者の権利は、(株)南江堂が保有します。

【JCOPY】(出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

広告申込所: 〒113-0033 東京都文京区本郷 5-24-6 本郷大原ビル 6 階 文京メディカル TEL 03-3817-8036